

KRI ワークショップ2024

「蓄電社会、このまま進むのか？」Part2 ～欧米・中国のEV／蓄電池戦略と電池パスポート～

エネルギー変換研究部

●とき 2024年10月25日(金)
●ところ 京都リサーチパーク1号館 サイエンスホール(講演会場)からのWebライブ配信

9:30-10:30 受付・ポスターセッション

10:30-10:35 挨拶

KRI 常務執行役員

木下 肇

10:35-10:50 ワークショップ開催にあたり

旭化成株式会社 名誉フェロー
株式会社 KRI 特別顧問

吉野 彰 氏

10:50-12:10 蓄電池をめぐる国際競争と電池パスポート
～日本はどう戦うか～

産業戦略アナリスト

大串 康彦 氏

12:10-13:30 昼食・ポスターセッション

13:30-14:20 ウラノス・エコシステムによる産業DXの政策展開

～蓄電池サプライチェーンデータ連携のこれまでと今後～
経済産業省 商務情報政策局
情報経済課・アーキテクチャ戦略企画室長

緒方 淳 氏

14:20-15:10 LIB材料開発・リサイクルの常識を変えるダイレトリサイクルとは
～資源問題、経済性、欧州規制を見据えた新たな切り札になるか～

24M Technologies, Inc.
President & CEO

太田 直樹 氏

15:10-16:10 パネルディスカッション

「蓄電社会、このまま進むのか？」Part2
～欧米・中国のEV／蓄電池戦略と電池パスポート～

パネリスト:大串 康彦 氏
緒方 淳 氏
太田 直樹 氏

モデレーター:吉野 彰 氏

「蓄電社会、このまま進むのか？」Part2 ～欧米・中国のEV／蓄電池戦略と電池パスポート～

エネルギー変換研究部

ワークショップ趣旨：

現在、SDGs、カーボンニュートラル実現に向けたBEVの普及拡大を背景に、リチウムイオン電池(LIB)の巨大なグローバル市場が形成されています。そうした蓄電社会では、今、需要拡大とともに資源・環境課題が大きくクローズアップされ、加えて各国のおもわくなども交錯し、混沌とした状況にあります。本年のワークショップでは、昨年議論した今後の蓄電社会のゆくえに関して、さらに深掘りして、欧米、中国の最新動向、急激に関心が高まりつつある電池パスポートなどに焦点を充て、今後取るべき対応や影響について取り上げます。具体的には、欧州、米国に加えて中国など巨大市場の覇権を巡る各国の戦略的・政策的な動きや狙い、「電池パスポート」、電池パスポートだけでなく今後サプライチェーン全体に影響を与える「CFP(カーボンフットプリント)」、経済性や規制対応を踏まえた「リサイクルの新たな方向性」についてご講演をいただきます。これら昨今の動きが今後の蓄電社会にどのような変化を及ぼすのか、将来の競争力維持・拡大に向けて、強みとすべき点、今なすべき対応や解決すべき課題などについて、参加の皆様と議論していきたいと思っております。

本年度のワークショップは、3名の先生方(産業戦略アナリスト 大串康彦先生、経済産業省 アーキテクチャ戦略企画室長 緒方淳先生、24M Technologies, Inc. President & CEO 太田直樹先生)にご講演をお願いし、先生方のご研究、お考えなどのご紹介、将来に向けた想いをお話しいただく予定です。また、各先生のご講演の後、旭化成 名誉フェロー／KRI 特別顧問 吉野彰先生と3名の先生方によるパネルディスカッションを予定しております。

コーディネーター・パネルディスカッションモデレータ ご紹介：

旭化成株式会社 名誉フェロー／KRI 特別顧問 吉野 彰 氏

(ご紹介)

国内、国外の団体から多くの賞を受賞し、2004年度には紫綬褒章、2013年にロシアのGlobal Energy Prize、2014年に米国のNational Academy Charles Stark Draper Prize、2018年に日本国際賞を受賞。
2019年には、欧州発明家賞、ノーベル化学賞、2023年にVinFuture Grand Prizeを受賞。

講演者・パネリスト ご紹介：

産業戦略アナリスト 大串 康彦 氏

(ご紹介)

1992年荏原製作所入社、技術者として環境プラントやエネルギー関連技術開発を担当。2006年から2010年までカナダの電力会社BC Hydro 社に在籍し、スマートグリッド関連事業企画を担当。海外企業や海外・日本の合弁企業、海外企業の日本法人での業務経験を基に、2023年より産業戦略アナリストとして蓄電池関連の情報発信、グローバルな産業政策分析・企業戦略の立案を行っている。

経済産業省 情報経済課・アーキテクチャ戦略企画室長 緒方 淳 氏

(ご紹介)

2004年産業技術総合研究所入所。同所・情報研究部門・研究員、同所・人工知能研究センター主任研究員を経て、2020年4月より同所・人工知能研究センター研究チーム長。2024年4月より経済産業省商務情報政策局情報経済課企画調整官、2024年7月より現職。博士(工学)。

24M Technologies, Inc. President & CEO 太田 直樹 氏

(ご紹介)

1990年 大阪府立大学 応用化学科卒業。長瀬産業にてリチウムイオン電池に関する新規事業開発グループを立ち上げた後の1999年に渡米。衛星及び医療用リチウムイオン電池会社: Quallion 設立に携わる。2005年-2012年に、Ener1/EnerDel社のCOO/CTOを兼任する間に、NASDAQへの上場を果たす。また、チタン酸リチウムのハイブリッド自動車用電池の開発で、アルゴンヌ研究所との共同研究でR&D100アワードを受賞。2012年に24M社にCTOとして加入し、2019年5月にPresidentに就任。2024年電気化学会技術賞(棚橋賞)受賞。